

これだけは知っておきたいパドルテニスのマナー

— 「何だ あいつ!」「何よ あの!」にならないために —



● ラリーの最初は？

まず、相手のフォアハンドに打ちやすいボールを送るのが思いやりです。その思いやりに対して、いきなり思い切り「パッカーン」と打ってしまっても コートの嫌われ者になってしまいます。

ボールのスピードは少しずつ上げていきましょう。相手がそのペースに合わせてきたら、「OK! これで続けようぜ。」のサインです。逆に、最初 から明らかにタイミングが合わず嫌～な顔をしたら、「ちょっと考えろ！」ということになります。

さらに、ラリーを始める際には、「おねがいしま～す」と会釈。「ボールいきま～す」でボールを出す。お互いが心地よい“パドルテニス作法”を身に つけてください。

● ボールを渡すときは？

「利き腕で、オーバーハンドで、軽く、ワンバウンドで、相手の胸のところに」が基本です。

遠くにいる相手やパドルのひもに手を通しているときは、ラケットで送っても差支えありませんが、相手がこちらを見ていないのに打ってはいけません。この時も、「ボールいきま～す」が便利です。すぐ近くにいる相手になら、手渡しするのがベストです。

● コートを横切りたい？ ボールが行っちゃった？

隣コートの向こう側に入出口があったり、ボールを拾いに行ったりする時に、プレー中のコートの後ろを横切らなければならない場合があります。

もし、そのコートがラリー中であれば、はやる気持ちを抑えてじっと我慢しなければなりません。そして、プレーが途切れたらコートの後ろを素早く通るようにしましょう。

ボールが隣コートプレーヤーの足元に転がって行ってしまった場合は、「足元ボールケアです」と伝えてください。ボールを拾ってもらったら、もちろん「ありがとうございます」です。

● 隣のコートからボールが入ってきたら？

インプレー中は、集中してプレーを続けても問題ありません。が、プレーが途切れたら、にこやかにボールを拾ってあげましょう。

コートの後ろで通行を待っている人がいる時は、できる限りさわやかに「どうぞ」と言ってあげてください。

また、試合中に入ってきたボールがプレーの妨げになる場合は「レット」をコールしプレーを停止することができます。この場合、そのポイントは やり直しとなりますが、自分がボールを打つ際にプレーを停止させる場合は、必ず打球前にコールしなければならないことを覚えておきましょう。

● ボールは誰が拾うの？

「ネットより自分側コートに転がっているボールは、自分や自分たちで 拾う」が、原則です。

相手側コートにあるボールでも、ネット際はなるべく拾ってあげてください。 自分側のボールを相手が拾ってくれたら、お礼の言葉を忘れないように！

● 大会の応援や観戦に行ったら？

「プレーヤーの妨げにならない」につきます。プレーヤーの視界に入る場所での応援や観戦中の居場所の移動は、なるべくエンドチェンジの時を逃さないようにします。コートサイドといえども、インプレー中の移動は控えてください。コートサイドでのワイワイベチャクチャなんて言語道断。

また、選手へのコーチングは厳禁です。「ガンバレー」や「一本リード」等の応援は OK ですが、「ボールをよく見て」とか「テークバックを早く」はコーチングになりますのでご注意ください！

携帯電話は当然マナーモードです。赤ちゃんを連れてくる場合は、突然泣き出したり、ボールが当たったりすると、みんなの迷惑になりますので、しっかり対応策を練ってからにしてください。

● 体育館を利用する時は？

体育館などの施設を利用する際も、わがもの顔は禁物です。施設の 決まりごとは守りましょう。

また、隣コートとの間仕切りがない施設を利用する時は、使用するボール数を必要最低限にして、できるだけ隣にボールがいかないように注意することが必要になります。ボールをたくさん使って練習したい場合は、コート間にポールフェンス係を配置するような工夫をしましょう。

さらに、使用後のモップ掛けは床面の端まで行うように心がけてください。コートに飲料水持込が許されている施設においても、ふた付き容器のものを！ ごみは決められた場所に！ 飲食・喫煙は決められた場所で！

ここに、パドルテニスプレーヤーとしての品格が表れます。

